

## 平成29年度 行政評価事業別シート

<b>実計対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	宮沢 吉浩
<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		<b>実施計画事業費</b>		<b>内線</b>	246-9000
<b>事務事業名</b>	4142 ごみ処理施設運営事業										
<b>所 属</b>	140100 環境部・生活環境課										
<b>施 策</b>	03011200 循環型社会の形成と環境衛生施設の適切な管理										
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計									
	<b>科目</b>	040202 衛生費・清掃費・清掃センター費									
	<b>事業</b>	030000 ごみ処理施設運営事業									
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>					
市内から排出された一般廃棄物の適正処理及び管理を行い、健康且つ清潔で衛生的な市民生活の確保を図る。また、廃棄物のリサイクルを推進し、循環型社会の形成を促進する。						清掃センターに搬入された可燃ごみの焼却、不燃ごみの破砕等の適正処理を行う。 ごみ処理に際し有害物質の発生を抑制し、自然環境の保全を図る。 搬入された廃棄物から再利用可能な資源物を分別し、リサイクルを行うことにより、循環型社会の形成が促進される。					

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>平成27年度 実績</b>	<b>平成28年度 実績</b>
ごみ処理施設及び粗大ごみ等処理施設の適正な運転管理を行い、安全かつ安定したごみ処理を行った。	ごみ処理施設及び粗大ごみ等処理施設の適正な運転管理を行い、安全かつ安定したごみ処理を行った。
<b>平成29年度 予定</b>	<b>平成30年度 予定</b>
ごみ処理施設及び粗大ごみ等処理施設の適正な運転管理を行い、安全かつ安定したごみ処理を行う。	
<b>平成31年度 予定</b>	<b>平成32年度 予定</b>

指標名	客観性のある安定した指標が困難である。				
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度 目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度 目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度 目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成28年度 決 算	平成29年度 予 算
事業費		194,829	216,082
特定 財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	168,678	127,495
一般財源	26,151	88,587	
人員数 (人)	正規職員	3.2	4.2
	嘱託職員	9.1	8.1
	臨時職員	0.0	0.0
人員 コスト	正規職員	23,100.8	30,319.8
	嘱託職員	25,070.5	22,315.5
	臨時職員	0.0	0.0
	計	48,171.3	52,635.3
市民一人当たりの経費	4.6	5.1	
総額	243,000.3	268,717.3	

(単位：千円)

平成28年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	109,752	消耗品費14,984、燃料費3,181、電気料25,671、修繕料65,916
13節 委託費	46,819	機器点検委託料2,560、ばいじん量等測定委託料2,054、焼却灰等処分委託料37,403、シルバー人材センター委託料2,739外
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	38,258	土地借上料5,163外

(単位：千円)

平成29年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	119,156	消耗品費18,830、燃料費4,024、電気料31,302、修繕料65,000
13節 委託費	56,197	機器点検委託料2,660、ばいじん量等測定委託料2,429、焼却灰等処分委託料43,000、シルバー人材センター委託料2,832外
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	40,729	土地借上料5,163外

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	高い
評価コメント	衛生的な市民生活を保持するため、適性なごみ処理を行わなければならない。また、安全に施設の運転ができるよう努めた。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	普通
評価コメント	ごみの適正処理のため、ごみの搬入時に分別指導等を実施した。また、ごみステーションから収集された、不適物について、分別指導を実施した。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	老朽化した施設を維持管理していくために、修繕内容を精査したうえで、必要な修繕を実施した。また、毎月の安全推進会議の実施、小型車両系建設機械及びクレーン運転講習への参加など、継続して、安全に適性なごみ処理ができるように努めた。	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

平成30年度末に長野広域連合による、焼却施設が本稼働する予定であり、定期修繕についても費用対効果等、内容について精査しながら事業を実施した。また、作業中の事故防止について徹底するなかで、継続して適正なごみ処理が実施できるよう努めた。

**ACTION**

**1次評価**

**2次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>衛生的な市民生活を維持するために必要不可欠な事業、安全かつ安定したごみ処理に努める。なお、可燃ごみは、長野広域連合による広域ごみ処理移行まで、施設稼働を維持する。</p>		<p>焼却施設は広域の施設可動後数年は稼働できるよう検討の必要がある。不燃物処理施設は今後も稼働するため詳細な検討が必要である。</p>	

**外部評価**

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	